

せいかつ百科

9月にごみの不適正排出によるごみ収集車の火災が発生しました。原因は、スプレー缶などに残ったガスが引火したものとみられています。また、火災と同時に刃物がむき出しのまま発見されました。収集作業員がけがをする危険がありますので、ごみの排出には心配りをお願いします。

寒さが増してくる季節となり、卓上カセットコンロの利用が多くなります。使い終わったカセットボンベの排出には十分注意してください。

●カセットボンベやスプレー缶の排出方法●

- ①缶の中身を使い切る
- ②缶の取り扱い説明表示に従ってガスを抜く
- ③火気の無い通気性の良い場所で、安全に配慮し、数カ所に穴を開ける

●刃物や割れたガラス片などの排出方法●

- ①紙袋や新聞紙などに包む
 - ②包み紙にマジックペンで「刃物」「割れ物」と大きく書く
- これらの処理を行ってから「燃えないごみ」に出してください。串など先のとがった物も手に刺さらないような排出の仕方を心掛けてください。

■問い合わせ＝本庁生活環境課生活衛生係（内線215）、各総合支所市民環境課

ごみの排出には 細心の注意を払いましょう

胆江地区衛生センターごみ焼却施設 長寿命化工事見学会の参加者募集！

ごみ焼却施設は平成6年の稼働から24年が経過し、設備の老朽化が進んでいます。今後も安定したごみ焼却が継続できる施設としてリニューアルするため、設備更新や発電施設の新設などの長寿命化工事を32年度まで行います。

施設を運営する奥州金ケ崎行政事務組合では、工事概要や進捗状況を広く市民に知ってもらうため、次のとおり工事見学会を開催します。なお、見学には事前に申し込みが必要です。

- 日時
12月2日(日)
1回目 午前10時～
2回目 午後1時半～
- 定員
40人（先着順、各回20人）
- 問い合わせ・申込先
奥州金ケ崎行政事務組合 ☎024-5821



日ごとに寒さが増してまいりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。

オーストリアの姉妹都市ロイテ、ブライトンヴァング両市の公式訪問団が、奥州市発足後初めて、旧江刺市時代から13年ぶりに訪問されました。両市は、平成3年に旧江刺市と姉妹都市を締結。東日本大震災後に本市の高校生が両市へ訪問した際には、旅費を全額ご負担いただくなど、温かいご支援をいただきました。

訪問団は市民交流や日本文化を体験し、本市の温かさを感じたことと思います。これからも交流を深めてまいります。先月、本市への企業誘致を目的に都内で開催された「おとしゅう首都圏産業交流会」と「企業ネットワークいわて2018 in 東京」に出席し、本市をPRしてまいりました。



首都圏や東北主要都市からのアクセスが良好で、ILC建設候補地の魅力あふれる奥州市です。今後も交流会などを積極的にを行い、企業誘致に結びつけてまいります。

世界遺産・平泉をイメージした図柄入りナンバープレートのお披露目がありました。デザインは、黄金文化を象徴する金色を基調に、平和を象徴する円、中尊寺金色堂の装飾があしらわれています。図柄入りナンバーで平泉の世界遺産がPRされ、地域活性化に結びつくことを願います。

先月、市公施設の将来を考えるシンポジウムを開催しました。人口減少と同時に公共施設が老朽化を迎える現状と在り方について、県立大学の齋藤俊明教授にご講演いただき、参加者と問題を共有しました。これからは医療、福祉の負担は増え続け、厳しい財政運営が見込まれます。子どもたちの将来を思い、真剣に公共施設の在り方について検討してまいります。

奥州市長 小沢昌記

We support the **ILC**

希望の ひかり

第60回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種最新情報をお届けします

ILC誘致決定の見通し

ILC計画が世界の協力のもとに実現されるためには、ヨーロッパの素粒子物理の戦略にILCが盛り込まれることが必須となっており、年内に日本政府がILCに前向きな方向性を打ち出す必要があるとされています。

これまで、市では、国への要望活動や地元として受入環境の整備を積極的に進めていますが、ILC実現には広く国民および科学コミュニティの理解・支持を得ることが政府判断の大きな力になると考えています。

このため、市では、関係団体とも連携しながら、ILC関連の講演会やSNSなどを通じて地元の熱意を全国に発

信するとともに、「ILCサポーターズ6万人署名運動」や東北ILC準備室の活動支援などを通じて、政府判断の後押しとなるよう取り組みを行っています。

文部科学省は今年7月、日本学術会議に対し、ILCの学術的意義など5項目について、政府判断に向け早期に審議するよう依頼しました。同会議では、現在、回答案の作成が行われています。

また、9月には、超党派の国会議員連盟と自民党の関係機関などで構成するILC誘致実現連絡協議会が設立され、「政策横断の国家プロジェクトとしてILCを位置付けること」「通常の科学技術予算の枠外で措置すること」などを決議し、第4次安倍改造内閣

ILC講演会「ILCの実現に向けて」

誘致の最新状況などを、市ILC推進室長が解説しますので、ぜひお越しください。

- 日時 11月24日(日) 午後2時～3時
- 主催 市立図書館、市ILC推進室
- 会場 水沢図書館 2階 視聴覚室
- 定員 80人
- 申込方法 参加には整理券が必要です。整理券は、市内5図書館およびILC推進室で配布しています。
- 問い合わせ 水沢図書館(☎024-3372)

ILCサポーターズ6万人署名運動展開中！

日本政府による国内誘致の意志表示期限が本年12月に迫るなか、政府の誘致判断を後押しするための「市民総参加の誘致運動」として、7月からスタートした「ILCサポーターズ6万人署名運動」。地区振興会や市内事業者の皆さまのご協力により、市で取りまとめた署名数は、10月末で4万人を超えました。6万人署名を目指して、引き続き募集しています！

参加方法

- ①ハッシュタグ「#ILCサポーターズ」をつけてSNSで応援メッセージを投稿
- ②SNSでILCサポーターズ公式サイトを「いいね」する
- ③ILCサポーターズ公式サイト専用フォームから応援メッセージを送信

ILCサポーターズ公式サイトQRコード →



対象 ILCの実現を応援する人（年齢、居住地などの制限はありません）

参加方法 署名用紙に氏名を記載のうえ、ILC推進室、各総合支所総務企画課または各地区センターに送付（メール・FAX・郵送・持参）

その他 ILCサポーターズ署名は無料です。サポーターズ宣言用紙は、ILCウェブサイトにも掲載していますが、ご連絡いただければ、郵送いたします。この署名は、東北ILC推進協議会を通じて、政府に届ける予定です。

また、署名運動と平行して、SNSによる参加も大募集します。



市内各種イベントで署名運動を展開中。写真は水沢産業まつりの様子